



鶴の便り

令和8年9月10日

第189号

発行 夕鶴の里

住所 南陽市漆山 2025-2

Tel 47-5800

見事な語りと熟練の語りに魅了されました！

～語り部養成講座修了&オープン講座終了～

6月27日（土）開講した『語り部養成講座』、4回の語り練習を経て閉講式として「発表会」と「オープン講座」を行いました。受講生の皆様は始まる前は『緊張する～』と言っておられましたが、始まってみれば緊張もどこ吹く風！大勢の皆様の前で堂々と民話を語っておられました。来年の受講もお待ちしております。発表会の後は堀敏子さん(昨年まで民話会会員)をお招きし、語りと民謡を披露いただきました。さすが堀さん！堀さんの語りに魅了されておりました。語りのほかに民謡もご披露いただき、アンコールがおこるほどの大盛況のうちに幕を閉じました。

受講生の皆様、堀敏子さん、ご来場頂いた皆様ありがとうございました。



語り部さんを知ろうのコーナー

語り部さんのことをもっと知りたい！皆様にも知っていただきたい！
と思い、立ち上げたコーナーです。

今年度入会されました、嵐田孝樹さんをご紹介します。

① 民話会ゆうづるへ入会したきっかけはどんなことだったのでしょうか？

民話『鶴の恩返し』が漆山地区が発祥の地だということを知り、それを話せるようになって何かに活かせればと思い、令和5年度の語り部養成講座を受講しました。その後、6年度、7年度と続けて語り部養成講座を受講していたところ、民話会ゆうづるへの入会のお誘いをいただきました。

② お話されている民話の中では得意なお話は何ですか？

得意と言えるレベルまで習得している語りはまだないのですが、『絵姿あねさま』という昔話をよく語ります。話に登場する「わがいす(若者)」が滑稽でクスッと笑えるところや、話している時に感情を乗せて語りができるので好きで語っています。

③ 民話を語るうえで大切にしている事を教えてください。

緊張して思い出しながら精一杯語っているというのが実情ですが、語りの内容がよく伝わるように繰り返し練習して場数を踏んで地道に覚えていくしかないと思っています。気を付けていることは、聴いてくださる方の目をできるだけ見て語ることと、元々早口なのでゆっくり落ち着いて語ることです。

④ 語り部さんとして一番嬉しかったことはどんなことですか？

聴いてくださる方がまじめなところで頷いてくれたり、おかしなところで笑ってくれたりするところが一番嬉しく語りをやっていて良かったと感じるところです。

「昔のあそび」のお誘い

9月19日(土)10時より「紙ずもうであそぼう！」を開催します。幼稚園のお友達、小学生のみんな～、中学生のお兄さんやお姉さん、皆で折り紙でお相撲さんを作って対戦してみませんか？詳しい事は公民館等にあるチラシをご覧ください。皆さんの参加をお待ちしています。

参加賞もあるよ～

夕鶴の里「昔のあそび」
かみずもう
「紙相撲であそぼう！」



紙質や厚みが違うさまざまな折り紙からオリジナルの力士をつくって
トーナメント方式で戦います！

優勝した人には夕鶴の里のオリジナルグッズをプレゼント！

参加賞も
あるよ！

日〇〇時：令和8年9月19日(土)10時から

場〇〇所：夕鶴の里

参 加 費：100円

定〇〇員：15名

申込方法：夕鶴の里にお電話にてお申し込みください。

※定員になり次第、受付を終了します。

夕鶴の里 TEL0238-47-5800